

■中間考査の振り返りをしよう

中間考査終了、お疲れさまでした。手応えはいかがだったでしょうか。明日から答案が順次返却されてくると思いますが、大事なのは、今回の定期テストに向けての準備、計画、取組、結果を振り返って「反省点」「課題」をあぶり出し、次回に生かすことです。例えば、

①「範囲が終わらなかった！」という人

これは定期考査に向けての計画の立て方が不十分だった可能性があります。2週間前には考査範囲、1週間前には考査の時間割が発表されますが、そこから逆算して「何日前までにどこまで終わらせるか」の見通しを立てて勉強していたでしょうか。行き当たりばったりの学習では直前になって大慌てするのが目に見えています。次回は「早めの準備」と「見通しをもった計画」をテーマに課題の克服に努めましょう。

②「想定していない問題が出題された！」という人

このような人は考査範囲のポイントをしっかり掴んでいないことが原因かと思われます。定期考査というのは日々の授業の理解度を測るもの。授業中に先生が「これは大事！！」と強調したポイントをしっかり押さえていたでしょうか。次回のテストまで、授業の説明を一言も聞き洩らさないつもりで「まず授業に全力集中」です。

そして、皆さんに声を大にして伝えたいのは

「返却された答案を徹底的に見直すこと！！！」

です（「徹底的に」とは「もう1回同じ問題で試験を受けたら満点取れる」までやる、ということです）。間違えた問題（まぐれで当たった問題も含め）を全て洗い出し、間違えた原因を分析し、教科ごとに作った間違い直しノート（通称『懺悔ノート』）に反省点を含め記録し、すらすら解けるようになるまで何度も繰り返すのです。テストが終わるたびに丁寧に復習する習慣をつけましょう。間違えた答案が皆さんにとっての最高の教材です。

■保護者対象進路講演会での話題から～生徒の皆さんにも考えてほしいこと～

18日にPTA 進路講演会を行いました（参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました）。保護者の方向けの講演でしたが、生徒の皆さんにも一緒に考えてほしい話題もたくさんありましたので、いくつか紹介します。今後の勉強の取り組みなどについて、家庭で話し合う材料にしてほしいと思います。

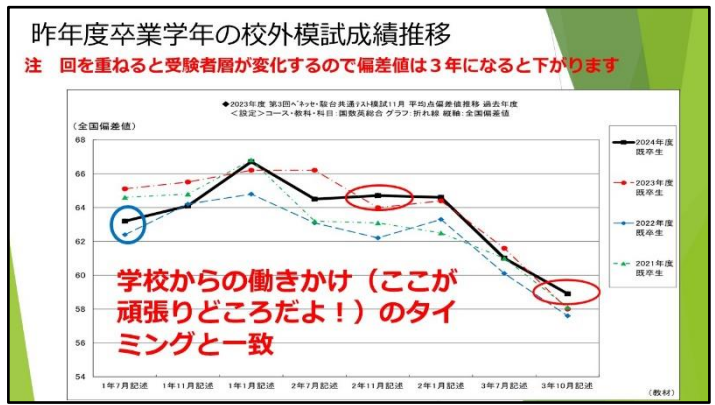
話題1：受験で成功した昨年の学年の様子を知ろう

昨年度卒業した先輩方は、素晴らしい受験結果を残しましたが、最初から成績が良かったわけではありません。学年団の先生方からの「今頑張り時だよ」のタイミングで学年全体がしっかり意識を高めて学習に取り組んできた成果と思われます。先生方から「ハッパをかけられる」タイミングは、皆さんにとってとても大切な時期だということです。

話題2：学習時間の確保について

ここ数年の大きな課題でもありますが、学習時間の減少が心配です。多くの学年が、年々学習時間が減少している現実があります。たかが1日あたり10分、と思うかもしれませんがこれが1年続けば膨大な時間の損失となります。

安定した学習時間を確保するために、次のことを提案しました。



3. 保護者の皆様へお願いしたいこと（資料7～8）

平日	(人) (%)			休日			(人) (%)		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年			
30分未満	1 0.4	0 0.0	2 0.7	30分未満	0 0.0	0 0.0	2 0.7		
30分～1時間	4 1.4	10 3.6	3 1.1	30分～1時間	2 0.7	7 2.5	1 0.4		
1～2時間	25 8.8	59 21.5	23 8.5	1～2時間	10 3.5	13 4.7	1 0.4		
2～3時間	114 40.3	113 41.1	92 34.1	2～3時間	32 11.3	37 13.5	9 3.3		
3～4時間	115 40.6	76 27.6	95 35.2	3～4時間	76 26.9	75 27.3	38 14.1		
4～5時間	19 6.7	12 4.4	35 13.0	4～5時間	71 25.1	51 18.5	33 12.2		
5～6時間	1 0.4	0 0.0	12 4.4	5～6時間	48 17.0	51 18.5	59 21.9		
6時間以上	3 1.1	4 1.5	7 2.6	6時間以上	43 15.2	40 14.5	125 46.3		
平均(分)	164	141	176	平均(分)	247	238	344		
昨年度平均(分)	148	145	184	昨年度平均(分)	233	262	322		

「たかが10分、されど10分」です
「塵も積もれば山となる」…「スキマ時間の活用」

① 勉強を開始する時間と場所を毎日同じにする

皆さんそれぞれに学習しやすいタイミングや場所があると思います。当面の間、学習開始時間と場所を同じにすることは、学習習慣の定着に有効です。「8時になったら何となく勉強するような気持ちに」「この場所に座ったら何となく勉強するような気持ちに」なるまで習慣づけることができればいいですね。

② スキマ時間の生み出しを

1日の生活を振り返り、「もったいない」時間がないか探してみましょ。通学の電車、朝 SHR 前、夕食前のちょっとした時間などで、10分20分確保できる場所はないだろうか。何かと多忙な前女生は、このスキマ時間を有効に活用しておくことが「前女スタイル」です。

話題3：塾や補習の活用について

通塾率が高いことも本校の生徒の特徴でもあります。ただ、塾に行く目的が「家だと勉強しないから」という生徒は心配です。人に敷かれたレールの上を進むだけで、「自分で計画を立てて勉強する」という習慣をつけないと必ず壁にあたります。早朝補習も同様ですが、必ず「目的をはっきりさせる」ことが大切です。毎年、学校の勉強と膨大な塾の宿題で板挟みになる、苦しい思いをする生徒が一定数います。まず自分で考えた1つの目標をきちんと仕上げることで達成感のある学習に繋がります。

■TEAM-OG 大学紹介「島根大学編」

進路講演会でも触れましたが、自分の学びたいことを求めて、全国の様々な大学に進学先を選ぶのも本校の生徒の特徴です。今回は、島根大学に進学した先輩から、大学の様子をレポートしてもらいました（島根なんて行ったことがない！という人は多いのではないのでしょうか？）高校受験と違い、非常に多くの選択肢があるのが大学入試です。皆さんがまだ知らないような大学や職業はたくさんあります。限られた情報からの選択ではなく、いろいろ調べた上で選べるよう、情報のアンテナを高くしておきたいものです。

前女の皆さん、こんにちは！島根大学医学部医学科一年のHです。GWも終わり、新しい学年、学校での生活には慣れてきましたか？私はまだ一カ月ちょっとしか経っていないのに、こっちに何ヶ月も住んでいるような気分です。

さて、島根県には一度も来たことがないという方も多いと思うので、まず医学部キャンパスがある出雲市について少し紹介します。出雲市には縁結びで有名な出雲大社や、出雲空港があります。しかし、すごく都会というわけではなく、私は地元の桐生市にとっても似た雰囲気だなと感じています。また、出雲の人はとても温かく、何度も親切にしてもらったことがあります。きっと旅行に來ただけでも感じられると思いますよ。

次に島根大学についてお話しします。医学科は男女が半々で、再受験生が多いというのが特徴です。また、九割の人が県外出身で北海道から沖縄出身の人までいます。特徴のある授業は医学英語という授業です。ペアになって患者さんとお医者さんになりきり、英語で診察の会話をします。診察で使う表現や病名の英語を知ることができたり、海外の ER という医療ドラマを見ることができたりしてとても楽しいので私のお気に入りの授業です。島根大学は医学部が出雲、それ以外の学部は松江にキャンパスがあり、一年の前期だけ医学部生も週に一度松江で第二外国語を学びます。その日は空きコマがあるので、友達とおしゃれなお店やカフェに行って松江を楽しむことができます♪

大学生になると、環境が変わって新たな出会いがたくさんあります。私は、初心者ですが思い切って剣道部に入部しました。勉強以外に新しく頑張る目標ができて、毎日充実してとても楽しいです！高校生活は忙しいですが、楽しい大学生活を夢見て皆さん頑張ってください。もちろん、今しかない MJ ライフも満喫してください！

3. 保護者の皆様をお願いしたいこと

前女生は「引き算がちょっと苦手」

①優先順位を明確にする

②ミッションを分割する

③完璧を目指さない

達成感の得られる取り組みを！



2. 本校における進路指導について（資料3）

・早朝補習、長期休業中補習、集中学習会等について

「やってるつもり」の落とし穴1

明確な目的意識もなく補習を受講（一安心）

→生活リズムが乱れて授業で居眠り（本末転倒）

→結局補習も途中でキャンセル（妥協の味）

あくまで「授業が最優先」の原則を大事にしてほしい！！